



倉田 博之 議員

「1」という数字の重みを実感し、強い意志で自殺対策を!!

自殺予防対策

問 ところや気持ちの疾患による入通院が急増している。「メンタルヘルス」の取り組みは。

答 保健所（県）が中心。市も啓発や相談事業など行っている。

問 県が中心としても対象は市民。市は積極的に様々な主体の施策連携をコーディネートするべき。平成24年まで、市の自殺率は全国的に非常に高い。その後の状況と分析は。

答 依然かなり高い。地域性や特徴・傾向等分析し、取り組みを強化する。

問 改正自殺対策基本法に「市町村自殺対策行動計画」の策定義務が明記された。

答 国等からの通知等を踏まえ取り組む。

スポーツツーリズムの推進とその環境整備

問 スポーツ目的の旅行ニーズは国内外ともに高い。市の見解は。

答 誘客の観点から大変有益で、将来的にも重要な手段と考える。

問 大会などの誘致には施設環境が不可欠。

答 全国レベルの大会開催や市民スポーツの施設配置など、整備計画策定のための基礎調査を、今年度行う。

問 アリーナは、観客をもてなす視点が今や全国基準である。高山の現行施設は不十分では。

答 今後、検討する。

問 市域のゴルフ場スキー場が経営的に苦戦。トップセールスの力で誘客増の意欲は。

答 積極的に展開する。



車戸 明良 議員

新教育長の教育方針は

新教育長の高山市の学校教育に関する考えは

問 新教育長の教育への信条、大切にしてみえるものは。

答 教育とは、「生きる希望を与えること」と、信じている。子どもたちが一歩踏み出そう、もう一回やってみようという勇気づけるものと考えている。

問 教育長が思う解決すべき高山市の教育課題は。

答 小3、4から英語教育が始まるなど新学習指導要領への準備と特別支援教育の充実。

問 今年度から小3、4年は各学校に任せ、年に10〜35時間程度の英語授業を実施するとしているが、学校格差が生じないか。

答 英語教育総合カリ

キウラムマネジャーの支援を得ながら、実態把握し同じ質の授業を実施する。

問 キッズウィーク（夏休みの一部を春や秋の平日に振り替え分散する）の導入の考えは。

答 大人が子どもにも向き合う時間を確保することや、大人の教育の価値観を変えていくよいチャンスになる。数々の影響も考えられ国の動向をつかみ、子どもの幸せに軸足をおいて判断する。

生物多様性について

問 将来の豊かな暮らしのために、生物多様性を保全していく取り組みは。

答 自然環境学習やいのちの森などの保全事業や外来植物の防除などを実施する。



山腰 恵一 議員

旅行者への実効性ある災害時の対応を

災害時における旅行者への対応について

問 大規模災害時の初動体制のシミュレーションをどう考えるか。

答 災害時初動マニュアルにより観光関連事業者が避難誘導を実施していただく。

問 民間事業者（企業・旅館・ホテル等）を一時的滞在施設として協力を得て安全確保する考えは。

答 災害時応援協定を結ぶ3か所のホテルを避難所として使用する。観光客は増加傾向にあり民間事業者の受入れ体制の拡充を図る。

問 大規模災害が発生した場合、交通網が機能しなくなる恐れがある。民間事業者との連携については。

答 民間事業者が

答 行政機関や民間事業者との応援協定を締結し、今後も拡充と協定の実効性を高める。

障がい者サポーターについて

問 障がい者へ配慮する障がい者サポーター制度を導入してはどうか。

答 研究する。

持続可能な森林管理と活用について

問 森林認証制度により認証された森林の現状は。

答 民間事業者が荘川地域に696haの森林の認証を取得している。

問 認証制度の積極的な普及の方向性は。

答 木材の付加価値や事業体の評価が上がることから、啓発を図る。